

令和6年度 定期モニタリング評価表（年間）				
施設名	枚方市立生涯学習市民センター・図書館 （蹠跚・牧野）	所管部署 （連絡先）	観光にぎわい部文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会中央図書館（050-7105-8110）	令和7年6月実施

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目		評価の視点	
1 業務の履行状況		事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行います。	
	(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっている
	(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
		リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認しま
2 業務の継続性・安定性		指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市北中振 3 丁目27-10 枚方市宇山町4-5（牧野北分館）枚方市牧野北町11-1	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理期間	令和5年(2023年)4月1日から 令和10年(2028年)3月31日まで		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	さだ・まきの文化創造プロジェクト	代表団体 (JVの場合)	株式会社小学館集英社プロダクション
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都千代田区神田神保町二丁目30番地	構成団体 (JVの場合)	株式会社図書館流通センター 株式会社長谷工コミュニティ

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画どおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
1	全く計画どおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

評価ポイント		指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
		評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項9）					
・生涯学習施設と総合文化芸術センターの連携を意識した効果的な事業展開		3	・生涯学習施設を日常的に活動・練習の場としている団体に向け、さらなる活動の振興を推進し、総合文化芸術センターでの成果の発表が実現できるように支援していくことを目指します。また、文化芸術振興の拠点である総合文化芸術センターで活躍している演者や芸術家にコンタクトをとり、生涯学習施設でも開催いただくことで双方の連携を意識した事業として企画・実施をしました。 【さだ】10月ヴァイオリニストの地域コンサートを実施 【牧野】3月ピアニストの地域コンサートを実施	3	地域コンサート事業にて総合文化芸術センターで活躍しているアーティストを登用しているため、総合文化芸術センターの連携を意識した事業を開催しており、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりの管理運営が行われていると判断できる。

・生涯学習施設と図書館が連携し、生涯の学びを支え、市民同士の交流がうまれるようなサービスを提供	3	・2階ロビーに図書館からの情報をお知らせするコーナーを設け、日ごろから図書館の情報も知ることができるようにしています。 【さだ】 ・8月にセンター・図書館連携事業「納涼怪談」を実施しました。図書館内では「こわいはなしのおたのしみぶくろ」を配布、センター2階アート・スペースではおばけや妖怪の装飾を展示してイベントを盛り上げました。 ・12月にセンター・図書館連携事業「コーヒーと物語のひととき」を実施しました。来館者に「コーヒーと一緒に読みたい本」をPOPに書いてもらい、集まった本を2階センターアート・スペースに展示、展示中の本を手にとることで交流を深めていただきました。 【牧野】 ・センター・図書館連携事業「みんなでつくる大きな本の木～梅雨のパノラマ～」を6月に1ヶ月間実施。来館者に自分のおすすめの本を雨粒に見立てたPOPに書いてもらい、市民同士の好きな本を教えあうことで交流を深めていただきました。 ・9月に「お隣の国、韓国を知る特集月間」を設け、「韓国旅行講座」「モールドールをつくろう！（韓国発祥）」を実施しました。実施に合わせ図書館内に特設コーナーをつくり韓国に関連する書籍を展示しました。また、2階ロビーにて韓国系アイドルの推し活動に発想を得た参加型の装飾「あなたの推しをおしえて」を実施。推しをハートPOPに記入いただき成長するフオトスポットとして展示を行い図書館内でも案内しました。（回収POP数280枚）	3	生涯学習施設と図書館が連携し、市民同士の交流が生まれるようなサービスを提供しており、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・小中学校との連携を図る事業や電子図書館の積極的な利用促進、子どもたちの主体性を重視した体験型・参加型の催しなどを実施し、子どもたちの「生きる力」を育成	3	・図書館見学や学校訪問おはなし会では子どもたちに本を楽しんでもらい、読書や図書館への興味をさらに深めることを念頭にプログラムを組んでいます。また、自らがテーマを決めて作成する工作会、実際の図書館現場での仕事を体験する等の子どもたちが探求心をもって主体的に参加する行事を企画、実施しています。 ・電子図書館を気軽に利用していただけるよう、カウンターにタブレットを設置し積極的に使用方法を案内しています。おはなし会などの機会を捉え、タブレットを用いて電子図書館を紹介し、小中学校で使用しているタブレットで電子図書館も利用できることを案内するなど利用促進に努めています。 【さだ】 ・蹠跏東小5年生が国語科授業の中で作成した宮沢賢治「注文の多い料理店」の解説文を館内に展示するなどし学校連携を図っています。この解説文を作成した児童親子が来館されることもあり、普段あまり来館されない利用者の来館のきっかけになったように思われます。これからもいろいろな形で近隣の小中学校と連携を図り、来館促進を進めていきます。また、子どもたちの主体性を重視した体験型・参加型講座を実施しました。 3月「小学生向け金融講座」定員48人 参加者35人 3月「SDGs環境講座」定員20人 参加者6人 【牧野】 ・招提中学校職場体験学習では生徒たちにおすすめ本の紹介POPを作成してもらいYAコーナーに本と合わせて展示しました。同世代からのおすすめ本は関心が高いようですぐに貸出に出ました。 ・主体的に取り組める参加型・体験型行事を実施しました。 7月工作会「ポップアップカードを作ろう」定員12人 参加者13人 8月「こども司書 図書館のおしごと体験」定員8人 参加者8人	3	図書館見学や学校訪問おはなし会の実施は、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。さだ図書館の小学校との連携事業や牧野の体験型事業の実施も評価できる。小学生は電子図書館の利用が活発な世代なので、事業を実施する際にはさらなるPRの実施や、電子図書館の特集更新などにも心掛けられたい。
・「人」「文化」「未来」をつなぐという3つの視点を土台に、「生涯学習の間口」「ネットワーク」「可能性」「未来へ」ひろげる活動	3	・地域活性の発信拠点として、利用者の安全を確保し、安心して活動ができるように館内のレイアウト等を常に見直し、より良い環境を提供しています。 ・施設の周知・認知度を上げ施設利用につながるように紙媒体やSNSでアプローチしています。また、様々な世代の方に向け興味を持っていただける講座などの事業を展開しています。 ・枚方市で活動している団体や事業者と連絡を取り合い、活動の場、発表の場としてのセンター利用の案内や事業連携を行っています。 12月「さだマルシェin winter」では近隣の障害者就労施設にお声がけをし出店をしていただきました。 ・子ども向けの講座を開催し、体験や知識を得る場を提供しています。 ・枚方市の文化や歴史を継承し広げていくために、有識者による講座を企画・開催しています。 ・他にも様々な自主事業を展開しています。	3	様々な事業を展開することを通して文化をつなぐから文化をひろげるといった提案内容に沿った活動が出来ており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

(ア) 管理経費・管理体制の提案					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項11）					
	・管理運営基本方針として、①公正・公平・平等②サービス向上による利用促進③適正な維持管理④諸経費の削減⑤コンプライアンスの徹底⑥環境に配慮した運営⑦地域との良好な関係の構築⑧危機管理・安全管理の徹底⑨個人情報の保護の9つを掲げ、それらに則って運営しているか。	3	・管理基本運営方針に則り運営をしています。 ①地域住民や施設利用者の多様性を尊重しながら、公平な施設運営を行っています。 ②利用者の意見や要望は施設運営に反映し、サービス向上に努め施設の利用促進を図っています。 ③施設・附帯設備及び備品などの適正な管理に努めるとともに、ファシリティ・マネジメントのノウハウを活用し、指定管理期間のみならず中長期的視点を持って施設が有する機能・性能を適正に維持管理します。 ④効率的・効果的な運営を意識し、経費削減に努めスタッフ全員で取り組んでいます。 ⑤施設運営に関するあらゆる関係法令を遵守し業務を遂行しています。 ⑥廃棄物の削減し、省エネルギーに努め環境に配慮した運営を行っています。 ⑦地域との連携や良好な関係づくりに努めています。 ⑧日常的に安全管理、点検を行い、危険性を発見次第事前に対策し、事故や怪我の未然防止に努めています。また、危機管理マニュアルを備え、訓練や研修を定期的に行っています。 ⑨「個人情報の保護に関する法律」、代表企業・構成企業で「個人情報保護マニュアル」を設置しており、日々個人情報取り扱いに注意をはらい、安全管理のために必要な適切な措置を講じています。 ・何か発生した際には速やかに所轄課への報告、連絡、相談を行っています。	3	管理運営基本方針にのっとり運営しており、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに適切に運営していると判断できる。
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービスの向上、効果的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項12）					
	・業務繁忙時にも対応できる、適切かつ柔軟な人員配置とサポート体制	3	・さだ・牧野(北分館)の人員を柔軟に配置し、不足することのない体制を構築しています。 ・朝礼時にセンター・図書館の情報(講座等)を共有し、利用者案内をスムーズに行えるよう努めています。 ・緊急時等には近隣地域で指定管理者が運営している公共施設職員のヘルプ・サポート体制にて対応します。 ・牧野では3月「人形劇フェスティバル」実施。本部職員・近隣施設職員によるサポートにて人員確保を行いました。(11人)	3	人員を柔軟に配置することにより、近隣地域の施設スタッフによるサポートを行うなど、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
(イ) 改善提案（生涯学習市民センター）					
生涯学習市民センターの諸室の利用率増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項13）					
	・利用率の低い諸室の使い方の提案や諸室設置備品の充実	3	・利用者からの意見や要望を聞き入れながら、諸室利用につながる備品の入れ替えや新たな設置を検討し充実を図っていきます。 【さだ】 ・利用率の低い保育室で、5月と9月に「さだの保育ルームで遊ぼう！」を実施、参加者に諸室の利用の仕方や玩具の貸出について提案しました。 ・料理室の調理道具は、利用者の意見や要望を聞きながら買い替えや新たな器具の設置を行いました。 ・料理室のビルトインコンベック付ガスコンロを1台入替えを行いました。 【牧野】 ・利用者からの声を集めながら来年度に向け検討しております。 【北分館】 ・調理室のIH対応の調理器具が少なかった為、土鍋や片手鍋を購入し充実を図り、5月「発酵で免疫アップ！みそ玉づくり」、6月「赤しそシロップづくり」で使用することで、備品の充実性をアピールしました。	3	諸室設置備品を充実させ、事業を通して諸室や備品の使い方を提案しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・利用率の低い諸室を中心に無料開放の機会を設けて認知度を上げる	3	・夜間利用率の低い諸室を無料開放しました。利用者には諸室の使い方などを案内しました。 【さだ】 ・9月に5日間じどう室の夜間無料開放を行い、主に学生の方にご利用いただきました。 【牧野】 ・9月に5日間和室の夜間無料開放を行い、主に学生の方にご利用いただきました。 引き続き利用率の低い他室や時間帯も視野に入れながら開放の仕方を検討します。	3	諸室を無料開放することで認知度の向上に努めていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・諸室利用の少ない夜間等の時間帯に、仕事終わりの方や若者層が興味を持つ事業として「夜間講座」「連続講座」を実施	3	【さだ】 ・6月から6カ月連続で「さだの夜活」講座を開催しました。会社帰りの参加者もみられ「夜開催ありがたい」とのお声をいただいています。 6月「苔玉作り」定員10人 参加者18人 7月「夏バテ防止！ナイト椅子ヨガ」定員20人 参加者11人 8月「納涼怪談」定員80人 参加者86人 9月「セルフお灸講座」定員20人 参加者26人 10月「ナイトクラシックコンサート」定員50人 参加者37人 11月「美文字講座」定員20人 参加者19人 内、20～50代の参加者が50%、はじめての参加者が28%でした。 【牧野】 ・8月をのぞく毎月、夜間講座を実施。社会人や学生向けに申し込み開始日を土・日・祝日に設定。受付開始時間を18時としている講座もあります。 4月「プチパーソナルカラー講座」定員20人 参加者27人 「りょうものまねヒットパレード」定員120人 参加者120人 5月「元タカラジェンヌと歌おう」定員30人 参加者30人 6月「発酵で免疫力アップ！みそ玉料理教室」定員20人 参加者24人 7月「真夏の枚方怪奇譚」定員30人 参加者61人 9月「モールドールをつくろう！」定員40人 参加者49人 「はじめてでも困らない！韓国旅行講座」定員20人 参加者25人 7～9月「牧野運動塾～ストレッチ＆コアトレ～」定員7人 参加者4人 10月「大人のレジンdeレッスン ペンダントづくり」定員10人 参加者17人 11月「音ヨガ～心安らぐ癒やしのカリンバ～」定員30人 参加者30人 内、はじめての参加者が43.5%でした。	3	両施設とも例年以上に夜間の講座を数多く実施され、夜間の利用者の増加に向けて取り組まれていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。若い世代の参加率や初めての参加の方が多い点も今後の施設の活性化へと繋がっていくことを期待する。
	・施設の認知度を高め、施設内情報の積極的な発信	3	・紙媒体で自治体へのチラシ・センターだよりの配布・ホームページやX、Facebookを運用 ・Youtubeを活用した情報発信 令和6年4月1日～令和7年3月31日 チャンネル登録者127名 視聴回数4,224回 インプレッション数 約6.3万 【さだ】 ・近隣自治会へセンターだよりを配布しています。 【牧野】 ・近隣商店会へのイベントポスター 配架を依頼しています。 ・令和5年度に試験運用したThreadsを今後も継続活用していきます。	3	複数の情報発信方法を用いて積極的に情報発信を行っていることから本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も継続して施設認知度向上のため、積極的な発信を期待する。
生涯学習市民センターで活動する団体の登録数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項14）					
	・継続的な学習支援として、団体・サークル発足までのサポート	4	・職員が積極的に案内・相談を受けています。 【さだ】 ・サークル発足を視野にいれて2月に登録ボランティア講師による「デコパージュ体験講座」を企画・実施しました。参加者に継続的な活動を案内しましたが、サークル発足にはつながりませんでした。今後も、継続して講師・参加者双方のサポートをしていきます。 【牧野】 ・自分のスキルを活かしたいとの声から12月「子どものためのウクレレ入門講座」実施。この講座をきっかけにウクレレ団体が設立。活動が始まり、施設の活性化に貢献しました。引き続きサポートしていきます。 ・牧野北分館利用において、麻雀への興味を抱いている方々のお声を受け、職員が団体発足から初期軌道に乗るまでを共同し、軌道に乗った後も会員が増える際など、円滑に団体が運営できるようアドバイスした。結果、健康麻雀団体が拡大し、新たに2団体発足。牧野北分館和室にて、毎週定例で活動しています。	3	団体を継続的にサポートしサークルが発足していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・登録団体を中心とした学習情報の発信を行い、市民と団体活動者をつなげる取り組み	3	【さだ】 ・団体の活動者を講師として、活動内容に興味を持っていただけるような企画を実施しています。 7月「夏バテ防止！ナイト椅子ヨガ」 11月「美文字講座」 【牧野】 ・活動団体の講師やメンバー協力のもと事業を実施。団体の紹介を行い、市民と団体活動者をつなげる場を提供しました。 10月「南海トラフ巨大地震直後の最適行動」実施 11月「音ヨガ～心安らぐ癒やしのカリンバ」実施 3月「牧野サークル体験見学オープン・ウィーク」として、団体の体験見学強化事業を実施、サークル活動を知ってもらいたい団体に発信の機会を提供しました。参加団体のうち4団体から新規加入の報告があり、団体の活性化につながりました。	3	団体の活動者を講師として、活動内容に興味を持っていただけるような企画を実施し、登録団体を中心とした学習情報の発信を行い、市民と団体活動者をつなげる場を提供していることから本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・団体活動の相談窓口を設け、イベント開催のサポート等の実施	3	【さだ】 ・はじめてイベントを開催する団体の相談役となり、開催実現までのサポートを行いました。引き続きサークル活動の活性化につなげていきます。 【牧野】 ・団体の定例イベントなどで、積極的に音響や照明の専門的な技術サポートを行い、イベント内容の満足度が高まるよう努めました。	3	団体活動の相談窓口を設け、イベント開催のサポート等の実施していることから本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
4					

	・生涯学習施設を利用したことのない方々の視点に立った情報発信	3	【さだ】 ・近隣の小学校のセンター・図書館見学の際には、施設の利用方法を案内しています。 【牧野北】 ・牧野北団地横にある、牧野駅前ハイツにて実施された防災講座に協力しました。参加者40人中、37人が牧野北分館を知らないと回答され、牧野北分館を知っていただく良い機会となりました。	3	近隣の住民や小学生など生涯学習施設を利用したことのない方々の視点に立った情報発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・団体登録数の増加に向けたロビー利用者への情報の発信	3	・団体のイベントポスター掲示、メンバー募集チラシの配架をしました。 【さだ】 ・窓口では諸室を利用して遊べるボードゲームの貸し出しをし、団体活動につながるよう推奨しています。 【牧野】 ・2階ロビーにて団体の成果を展示することでロビー利用の方に団体の情報を発信しました。	3	団体のイベントポスター掲示、メンバー募集チラシの配架など団体登録数の増加に向けたロビー利用者への情報の発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
ロビーを含む生涯学習市民センター全体の利用者数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項15）					
	・複合施設の利点を生かし、センター利用者を図書館へ、図書館利用者をセンターにつなぐ事業として、センター講座時に関連図書の展示や図書館見学時に生涯学習施設も案内する等の実施	3	・センター自主事業時には部屋出入口前に関連本を展示。講座中に展示本の紹介を行いました。 【さだ】 ・8月連携事業ファミリー映画上映会「長靴をはいたネコと9つのいのち」を実施時には図書館内に特設コーナーを開設し、申込につなげました。 ・10月連携事業「絵本作家がやってくる！読み聞かせ＆サイン会」の際にはセンター2階アートスペースで原画展を実施し、図書館利用者にセンターへも足を運んでいただくきっかけとなりました。 【牧野】 ・10月、施設内を巡り謎解きをしながら図書館とセンターを繋ぐイベントとして「マッキーのナゾときツアー！～ハロウィンパーティにござようたい～」を実施しました。	3	センターと図書館と連携した特設コーナーの設置など、複合施設の利点を活かしており本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営しているものと判断できる。
	・幅広い世代で過ごしやすい「居場所」づくりとして、いすや机のレイアウトをニーズに合わせて改善	3	【さだ】 ・一人で利用される方も多いため、気兼ねなく利用しやすいレイアウトを取り入れています。 【牧野】 ・緑を増やし、癒しを感じるように演出しています。マザーリーフ、多肉植物等の増えたさし木を配付し、好評となっています。 ・2階ロビーをベビーカーや車いすが動きやすいように十分な通路幅を確保したレイアウトに変更しました。	3	利用しやすいレイアウトへの変更等幅広い世代で過ごしやすい「居場所」づくりとしてることから本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・文化の継承や発信を率先して行うなど、館内装飾や掲示の充実を図り、満足度の向上を目指す	4	・こどもの日や七夕、夏祭り等、文化の継承を意識した季節の館内装飾を行い、アンケートでは非常に高い評価をいただいています。 【北分館】 ・敷地内の花壇を有効に使用する為、季節ごとに合ったカボチャや落花生などの穀物や、アサガオやレンゲなどの花を植えて景観を整えることにより、ご利用者来館時やアンケート時に高い評価をいただいています。また、夏のグリーンカーテンから収穫したゴーヤや唐辛子、花壇から採取できた花の種なども配付しており、非常によろこばれています。 ・掲示板「北分館つーしん」にて上述した植物の様子や案内を毎月更新 しています。	4	季節感あふれる館内装飾は好評で、高い満足度に繋がっている。牧野北分館においては敷地内を草花で綺麗に彩り、市民からも好評であることを評価しており、計画以上の良好な管理運営を行っていると判断できる。今後は各センターへも波及させ、多くの市民の来館へつなげるよう期待する。
生涯学習市民センターの設置目的等を踏まえた事務所サービスが具体的に提案されている（確認事項16）					
	・人々が交流し学べる場の提供ができる体制の構築	3	・生涯学習のきっかけづくりとして様々な講座を実施しています。 ・毎月発行のセンターだよりやSNSで講座、イベントの案内を行い、市民の自発的な学習の促進を図っています。	3	センターだよりで活動中のサークルや講師を紹介することで人々が交流し学べる場の提供ができる体制の構築をしており本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域と共同したイベントの開催	3	【さだ】 ・「さだ若葉まつり」実施来館者数 延べ2915人(5月25日・26日の2日間) ・12月に近隣の障害者就労施設にご協力いただき「さだマルシェ in winter」を実施。 来館者数 約200人(12月14日10:00～16:00にホールにて開催) 【牧野】 ・4月から通年で「就労継続支援B型事業所わお」による季節の館内装飾を実施しています。 ・「まきの文化祭」実施 来館人数 延べ約1000人（6月15日・16日） ・6月殿山第二小学校のセンター・図書館見学及び職場インタビュー ・10月「牧野愛する商店会」ハロウィンイベントに協力し、施設にスタンプラリー会場の設置しました。	3	積極的に地域とかわかり、施設を知ってもらうような地域と共同したイベントの開催しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者ニーズにあわせた備品貸出のサービス	3	・令和6年度も引き続き利用者からの要望も反映しながら枚方市と協議の上導入を検討しています。 ・印刷室のコイン式コピー機にカラーコピーを対応しています。・緊急時に備えてモバイルバッテリーを常備しています。 【さだ】 ・令和5年度にイベント開催用にBluetoothスピーカーを購入し、継続してご利用いただいています。 ・和室や保育室でもホワイトボードを使いたいというお声を受けて、専用のホワイトボードを購入しました。 【牧野】 ・令和5年度に3階ロビーに貸出用ホワイトボードを追加購入し、設置して2階からの移動の手間をなくしました。また、利用が多い大型ミラーを1台追加購入、Bluetoothスピーカーを購入し継続してご利用いただいています。	3	利用者ニーズにあわせた備品貸出のサービスを行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・デジタルサイネージの採用	3	・2階ロビーにデジタルサイネージを配置しています。 ・講座やイベント情報の他、施設の案内やお知らせなどを配信し、利用者の利便性向上に努めています。	3	デジタルサイネージでイベント情報など有益な情報を配信しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・施設見学への対応（見学時間を確保できない貸室については、案内動画を公開）	3	・施設見学希望者には、スタッフが同行し使い方の説明をしています。・さだ、北分館ではYouTubeでの諸室紹介動画をご案内しており、牧野では制作準備中です。 【北分館】 ・YouTubeにて諸室の設備や備品、使用の具体例を含めた案内動画を公開しています	3	施設見学への対応を行い本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・騒音など利用者間のトラブルが発生しそうな予約を事前に把握して調整するといった、利用者同士の利害調整の支援	3	・音楽団体等の大音量が予想される団体には、他の利用者に配慮していただくよう声掛けをしています。	3	利用者同士の利害調整を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・介助案内表示や外国語対応、パソコン操作サポートなど、利用者が最大限に施設を利用しやすくなる各種サービスを提供	3	・窓口で筆談対応可の掲示をし、筆談ボードを設置しています。 【さだ】 ・職員は翻訳アプリを利用できるようにしています。 ・スタッフがパソコン使用時やWi-Fi接続時のサポートを行っています。 【牧野】 ・諸室利用掲示に案内用絵記号を表記しました。 ・多言語化推進の為諸室利用掲示に英語、中国語を追記しました。 ・翻訳機器「ポケットーク」を窓口に設置しています。	3	利用者が最大限に施設を利用しやすくなる各種サービスを提供しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組みについて、具体的なアイデアが提案されている（確認事項17）

	・さだ施設でのボードゲームやデッサンモチーフの導入や、牧野施設でのアルミラーやホワイトボードの追加といった、施設の設備・備品の充実	3	・子育て世代に向け、知育玩具を用意しています。 【さだ】 ・多種類のボードゲームを導入し、諸室利用者へ貸出をおこなっています。使い方がわからない場合は、職員がサポートしています。 ・美術団体の利用が少ないため、利用促進のひとつとしてデッサン用のモチーフ（石膏像）を導入し、第2集会室で保管しており、ご利用いただいています。 ・利用者イベント時のみ貸出しているBluetoothスピーカーを、若者層からの要望が多いため貸出備品とする予定です。 【牧野】 ・利用頻度が高いホワイトボードの貸出場所を事務所だけでなく3階にも設置し利用者の便宜を図っています。 ・若年層のダンス利用者の需要が高いアルミラーを追加購入し、利用者の重複を低減させています。 ・令和5年度に一般貸出用としてBluetoothスピーカーを購入し、継続してご利用いただいています。 ・チェーンスタンドを購入し、イベント時の行列整理に活用しています。	3	子育て世代に向け、知育玩具を用意する等施設の設備・備品の充実を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
--	---	---	--	---	--

（ウ）改善提案（図書館）

図書館の新規登録者を増やすための取組みが提案されている（確認事項18）

	・1フロビーを活用した貸出カード登録案内の実施	3	【さだ】 ・事業計画書記載の「1フロビーを活用した登録案内」にかわり、令和6年度はカウンターでの登録案内を強化しました。 【牧野】 ・6月まきの文化祭2日目2フロビー「貸出カード登録会」登録者3人 ・3月人形劇フェスティバル1フロビー「上演演日本の展示・貸出カード登録会」登録者2人	2	ロビーを活用した登録案内は年度事業計画書に記載されているもので、さだ図書館においては、中間期には実施予定とされていたものの、結果として実施されなかった。本市要求事項水準を満たしているとの判断には至らなかった。一方、牧野図書館では多くの利用者数が見込める事業の開催にあわせた貸出カード登録会の実施を確認した。
	・利用案内や事業チラシ等のポスティングの実施	3	【さだ】 ・さだ生涯学習市民センター・図書館周辺は、現在、京阪本線高架工事に伴う光善寺駅前の再開発による建設中の新築マンションが多数存在しております。新しく転入されて来た入居者に向けて、図書館の存在を知っていただける効果的な方法として、利用案内、事業チラシのポスティングを計画していましたが、利用案内の改訂が令和7年4月に行われることによりポスティング時期を変更致しております。 【牧野】 ・6月開催のまきの文化祭への図書館企画「原画展」案内のポスティング（配布数2,080部）を実施しました。	3	ポスティングによる図書館の事業広報については、申請時の事業計画書に記載されているもの。さだ図書館については中間のモニタリングにおいて配布地域の検討を指摘したものである。利用案内の改訂があったことにより、結果として実施されなかったもので、次年度以降の早い段階で実施されることに期待する。牧野図書館についてはポスティングが実施されているが、次年度からはポスティングの効果測定ができる仕掛けに期待する。
	・SNSを利用し、ラーニングルームの情報等と併せたスマート登録の情報発信	3	【さだ】 ・レイアウト変更し使いやすくなったラーニングルームの情報をSNSで発信しています。結果としてラーニングルーム利用者は増加しています。（年間利用実績：6,852件、前年比110％）ラーニングルーム内では壁面や個々の机にスマート貸出サービスのご案内や電子図書館やWebサービス等の利用案内の二次元コードを掲示し、利用者に向けて情報発信をしています。 【牧野】 ・Xを利用してラーニングルームの空席情報を継続して毎日発信しています。（年間利用実績：7,092件、前年比106％）各机に「ひらかた電子図書館」へアクセスできる二次元コードを貼付、室内に定期的に発信する「ひらかた電子図書館のおすすめ本」の二次元コードを掲示しています。	3	事業計画どおりに運営していると判断できる。両施設ともラーニングルームの利用が前年度比で増加しており、学生層を意識した時間帯にSNSによる空き状況を発信するなど情報発信がされている。あわせてスマート登録への積極的な案内も発信し、新規登録者を増やす取組みを実施されたい。

図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている（確認事項19）				
・ニーズに合った特集展示や話題になった本のスポット展示の実施	3	【さだ】 ・児童、一般、特集、ミニ展示、健康展示など6つのスポット展示を月替わりで実施しています。図書館スタッフ、それぞれがアンテナを張り、来館者の声を聞き取り、動向を観察し、児童であれば季節に合ったテーマ、一般向けであれば分類をまたぐ話題のテーマや身近な課題解決などをテーマとした展示をしています。これら月替わりのスポット展示は利用者には大変好評で、3月には「大阪・関西万博」をテーマに1970年に開催された「大阪万博」の関連本を展示したところ、多くの利用者が興味を持たれ、貸出冊数も増えました。 【牧野】 ・新しい生活のスタート月の4月には「〇〇一年生」、8月はオリンピック開催に合わせて開催国の「フランス特集」、お月見の季節9月には「月」、12月には昭和100年を目前に「昭和ってこんな感じやってん」、出会いと別れの季節3月には「贈る言葉」等、季節や社会の動きに合わせて特集展示を組んでいます。利用者からは「この図書館の展示はユニークなものが多くて面白い」「いつも楽しみにしている」等のお声をいただき人気のコーナーとなっています。幼児向けの展示コーナーを赤ちゃんえほんコーナーに新しく増設し絵本を中心に展示しています。本屋大賞受賞作品展や追悼展、「薬物乱用防止・食中毒予防」「食育」の市啓発キャンペーン等、その時々で展示コーナーを設けています。	4	さだ図書館については、児童・一般・ミニ展示・特集展示などを月替わりで実施、牧野図書館についても新しい生活がスタートする時期にあわせた展示やオリンピックに合わせた企画展示などを実施するなど、両施設ともに工夫を凝らした特集展示の実施は本市要求事項水準を満たしており、事業計画以上に運営していると判断できる。単なる特集展示にとどまらず、来館者の声や利用動向を観察し、ニーズの把握に努められたことにより貸出冊数の増加にもつながり、利用者にも好評であり評価できる。特集展示は利用者と新たな本の出有を創出する機会であるので、引き続き精力的な取組みに期待する。
・司書の選定した本だけでなく、各方面で活躍する外部の方が選んだ本を展示するなど、多様な切り口での本の紹介	3	【さだ】 ・利用者の方にアンケート「コーヒーと一緒に読みたい本」を募り、利用者のおすすめコメントをPOPにしたものと一緒におすすめ本を展示し、ブックリストを作成、配布しました。利用者に記入していただいたPOPは30枚ほど集まり、利用者おすすめ本は所蔵のあった20冊ほどを展示しました。またセンターとの共催事業で、12月に「コーヒーと物語のひととき」を実施し、利用者が選んだ本とコーヒー講座を連動させたイベントを実施しました。定員16人 参加者14人 【牧野】 ・6月まきの文化祭で『おいしいのぼうけん』複製原画展を開催しました。1974年刊行のロングセラー絵本であり、世代を超えて楽しんでいただくことができました。7月～8月には小中学生向け「お気に入りの一冊をあなたへ」展示を実施しました。同年代の子どもが推せんする本を紹介しました。 ・10月～11月の秋の図書館まつりでは子育て中の各界で活躍する著名人が選書した「ボクニキミ こどものための100冊」展示を行い、親子で本に親しむきっかけにもなりました。	3	利用者のお勧めによる展示とブックリストの作成は図書館をより身近な施設に感じられる取組みであり、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営しているものと判断できる。各界からのおすすめ本の展示も幅広い観点から選書されたもので、子どもと本の新たな出会いを創出する機会にもなり、効果的な事業となったと評価できる。次年度以降も、様々な分野の図書の紹介・展示に取組まれたい。
・本の福袋の展開	3	【さだ】 ・ひらかた絵本まつり2024「本のおたのしみ袋」絵本、児童書計58袋 ・8月「こわいはなしのおたのしみ袋」年代別計44袋 ・1月「新春としょかん福袋」年代別計50袋 いずれも全て貸出となりました。本の福袋行事はは毎回好評で心待ちにされている利用者の方も多いです。 【牧野】 ・ひらかた絵本まつり2024「えほんのおたのしみふくろ」30袋 ・夏休み期間「子ども本のサマーギフト」小中学生学年別計40冊 ・1月「としょかん福袋」年代別計60袋 いずれも全て貸出となりました。「普段なら借りないジャンルの本を楽しむことができました」「家族で笑って読めてよかった」など読書の幅を広げてもらうことにつながりました。	3	福袋は利用者に人気の企画であり、両施設ともに用意したセットがすべて貸出されたことは評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営しているものと判断できる。対象となる利用者層には、普段は自分では選ばない本と出会うことで、読書の楽しみが広がるきっかけとなるもので、次年度以降も引き続き取り組まれたい。
・絶版本や過去の良書を提供するコーナー設置や出版社社長等を講師に招いた「お宝発見」講座の開催、図書館見学ツアーといった事業を実施	3	【さだ】 ・復刻コーナーを常設で設置し、さだ図書館が開館した昭和61年に発刊された本や開館当時（昭和60年代）の雰囲気を感じられる本、そしてさだ図書館ならではの「蹉跎今昔いろはかるた」などを展示しています。また、昭和61年に文学賞を受賞したブックリストも置いています。地元の利用者の方が興味深そうに閲覧されています。 【牧野】 ・8月「こども司書 図書館のおしごと体験」では、図書館書庫を案内し、過去の本も大切に保管していることを知ってもらいました。 ・1月より閲覧室内に常設の「書庫の本コーナー」を設けました。1ヶ月～1ヶ月半ごとにテーマを設定して展示本を入れ替えています。（「文学」「1970年代」等）普段開架で見ることのできない本に魅かれてコーナーから本を手にとれる姿も見られます。	3	両施設ともテーマを絞った特集展示を実施し、利用者の関心を引いており評価できるもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営しているものと判断できる。牧野図書館における子どもを対象にした「図書館のおしごと体験」では普段は入ることのできない書庫の見学を行い、図書館の役割の一端を紹介するなど、子どもにとってより図書館への理解を深めるきっかけづくりをしたことも評価できる。当初の事業計画書に記載のお宝発見講座・図書館見学ツアーの実施にも努められたい。

図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組みについて、具体的なアイデアが提案されている（確認事項20）				
・書籍除菌機の導入	3	【共通】 ・除菌機を継続して設置しています。 年間利用実績 さだ 7,712件、牧野 8,499件	3	書籍除菌機は令和5年度にリニューアルされており、効果的に活用されていることが確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・デジタルサイネージの活用	3	【共通】 ・継続して設置しています。館内催し案内、施設利用案内、市からのお知らせを随時情報発信しています。	3	デジタルサイネージでの情報発信について確認できたもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおり運営されているものと判断できる。引き続き情報発信に努められたい。
・癒し空間をコーディネートする自然音の活用や観葉植物の設置	3	【さだ】 ・継続して1フロビーにスピーカーを設置しており、開館前の利用者の方に気分よくお待ちいただけるよう自然音（小鳥のさえずり）を流し、癒しの空間を演出しています。利用者の方からも自然音はリラックスできるとのご意見もいただいております。 【牧野】 ・図書館利用時にリラックスしてもらえるよう、継続して1フロビーで自然音（小鳥のさえずり）を流し、閲覧室、ラーニングルームには観葉植物を設置しています。	3	両施設ともに継続的な取組みであり、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。引き続き利用者にとって居心地のいい環境づくりに努められたい。
利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている（確認事項21）				
・導入済のデータベースの周知のためのイベントの実施	3	【さだ】 ・2月に実施した小中学生対象の「図書館司書体験講座」や小学校図書館見学（蹠跢小3年、関西創価小2年）のプログラムに、導入済の新聞記事データベース「ヨミダス」の検索、閲覧を体験を実施しました。また、利用者の方にはデータベースという図書館サービスを知っていただけるような案内POPを掲示し、周知を図っています。 【牧野】 ・ジャパンナレッジを知ってもらうために紹介記事を10月、11月「まきのだより」に掲載しました。 ・12月図書館活用術講座「ジャパンナレッジを知ろう」3回 定員各回4人 延べ参加者 9人 「ジャパンナレッジ」の機能を説明することにより本の貸出だけが図書館サービスではないことを知ってもらうことができました。	3	商用データベースの利用促進に向けた取組みが実施されたことを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。商用データベースは課題解決のためのツールのひとつとして、活用講座の開催をはじめ、データベースの活用方法の周知などに積極的に取組まれることに期待する。
・センター利用サークルへの内容別図書紹介の種類増加	3	【さだ】 ・「ひらかた怪談サークル」に実施していただいた事業「納涼怪談」に併せて、「怖いお話」、「怪奇現象」など関連本を利用者の方へ紹介しました。 【牧野】 ・9月にセンター利用サークル活動に図書館資料を活用していただくためのリーフレットに「ヨガ」を加えました。現在10種類を2F窓口、牧野北分館にて設置しています。	3	リーフレットはよく利用されていることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。センターの利用状況にあわせ、サークルへの図書紹介の機会の増加に努められたい。
・ブックリストやパスファインダーの作成・発行	3	【さだ】 ・8月にパスファインダー「蹠跢について調べる（歴史・地名編）」vol.1を作成、発行しています。内容については、蹠跢の歴史や地名について調べるときに参考になる図書・雑誌の紹介になりますので、郷土資料を探されている利用者からは、調べやすくなったと評価をいただきました。令和7年も9月にVol.2を企画作成し、発行を計画しています。 【牧野】 ・7月「枚方怪奇譚」、1月「大坂の陣～城にみる攻防」では、ひらかた電子図書館のブックリストを作成、参加者に配布しました。 ・パスファインダー「まきのコンパスvol.2 枚方の遺跡を調べる」を11月に発行しました。11月センター自主事業「もっと知りたい枚方市の取組み 牧野は遺跡の宝庫」会場内にvol.1、2とも設置し講座の参考にしてもらいました。vol.1は3月に改訂を行いました。	3	パスファインダーの作成・発行を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。引き続き新たなパスファインダーの作成に努められるとともに、内容についても適宜更新されたい。

(エ) 事業提案（生涯学習市民センター）				
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習市民センターの活性化や利用者数の増加につながるような自主事業が具体的に提案されている（確認事項22）				
・利用者の声を反映させた事業	3	・講座後アンケートや、利用者セルフモニタリングにて収集した意見をもとにした事業を実施しています。 【さだ】 ・「もっと子ども向けの講座を実施してほしい」のお声から、「夏休みキッズ大作戦」として子ども向けの講座を実施しました。 7月「地図で枚方を見よう」定員20人 参加者17人 8月「ミニ水族館を作ろう」定員20人 参加者41人 8月「プログラミング体験教室」定員20人 参加者20人 3月「春休み子ども企画 まが玉を作ってみよう！」定員20人 参加者11人 【牧野】 ・「地元の有名人を呼んでほしい」というお声から実施しました。 4月「りょう ものまねヒットパレード」 定員120人 参加者120人 7月「真夏の枚方奇譚」 定員30人 参加者61人 ・「ものづくり」「再度やって欲しい」というお声から実施しました。 8月「レジンdeレッスン夏のヘアゴムづくり」 定員24人 参加者60人 ・「枚方の歴史や遺跡を知りたい」というお声から実施しました。 10月「もっと知りたい枚方市の取り組み：文化財、発掘調査」 定員30人 参加者14人 ・昨年牧野北分館で好評だった講座をリクエストから実施しました。 12月「レジンdeレッスン冬のキラキラキーホルダー」定員24人 参加者67人 ・「自身のスキルを活かしたい」というお声から実施しました。 12月「子どものためのウクレレ入門講座」定員6人 参加者12人	3	講座後アンケートや、利用者セルフモニタリングにて収集した意見をもとにした事業を実施しており、利用者の声を反映させた事業を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・市民の自主的な活動のきっかけづくりのための事業	3	【さだ】 ・昨年3月より「楽10体操講習会」を定期的に実施し、地域の方の自主的な健康づくりに貢献しています。 【牧野】 ・自身のスキルを活かしたいというお声にお答えし、12月に「子どものためのウクレレ入門講座」を実施	3	市民の声等から市民の自主的な活動のきっかけづくりを行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・地域活性化・地域課題解決を目的とした市民との協働事業	3	【さだ】 ・6月「もっと知りたい枚方市の取り組み(防災編)」を実施し、枚方市危機管理対策推進課の職員と一緒にセンター周辺地域のハザードマップを確認し、避難訓練の重要性を認識していただきました。 ・1月「さだグリーンデー」を昨年に引き続き実施しました。清掃活動を通して、職員と利用者のコミュニケーションをはかり、地域の環境・治安の向上を目指します。 ・2月「みんなで作ろう！ ペットボトルキャップアート」そ実施し、環境問題やリサイクルを考えるきっかけとしました。 集めたペットボトルキャップ 約2000個は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付し、後日「JCVペットボトルキャップ寄付証明書」をいただきました。 【牧野】 ・SDGsなど社会的要請の視点を有する事業として実施しました。 8月「家電リサイクル博士になろう！」定員15人 参加者21人	3	清掃活動や避難訓練などを通して地域活性化・地域課題解決を目的とした市民との協働事業を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・構成企業独自のノウハウを活かした講座・事業、従来の企画や新たな工夫を行い、若年層の参加促進の実施	3	・企業独自のスケールメリットやコンテンツ力を生かし講座を展開しました。指定管理者が運営している公共施設で人気の講座を積極的に開催しています。 【さだ】 ・6月「海洋プラスチックを活用！ レジンのカラフルアンブレラマーカーづくり」定員24人 参加者28人 ・3月 指定管理者が運営する公共施設の学芸員による「勾玉を中心とした石製遺物からみる枚方の歴史」を実施 定員20人 参加者11人 【牧野】 ・12月「お正月を華やかに彩る！ 水引祝箸袋作り」実施 定員20人 参加者20人 ・1月 指定管理者が運営している公共施設の学芸員による「～歴史講座～大坂の陣にみる「城」での攻防」を実施 定員20人 参加者79人	3	企業独自のスケールメリットやコンテンツ力を生かし若年層に関心をもっていただける講座を提供することで、若年層の参加促進を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
ウイズコロナの観点から、SNS・動画配信サービス等を活用した具体的な事業が提案されている（確認事項23）				
・他センター、自宅などからも参加可能な、サテライト講座の実施	3	・YouTubeライブ配信機能を使用して配信し、メイン会場を牧野センター、サテライト会場をさだセンターとし、離れた地域でも気軽に受講していただきました。 10月「終活講座」定員20人 牧野参加者34人 さだ参加者16人	3	YouTubeライブ配信機能を使用し、他センター、自宅などからも参加可能な、サテライト講座を実施しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・撮影・録画・配信などを活用したオンライン講座の実施（受講者への案内も実施）	3	・配信を実施した後はアーカイブを保存。参加者に講座終了後も再度視聴していただけるよう、ご案内しています。	3	オンライン講座を実施するとともに、配信後は再度視聴していただけるようアーカイブを保存しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・公式SNSや地域メディアとタイアップを行い、効果的な情報発信	3	・ホームページ・Facebook・YouTube・Xを活用しています。 ・講座に関連する専用サイトの使用や、関連商店等にチラシの設置を依頼しました。 ・施設外でのチラシの配布活動をしました。 【牧野】 ・情報サイト「ひらかたつーしん」へのイベント紹介記事の掲載を依頼しています。	3	各種SNSを活用して情報発信に取り組むなど効果的な情報発信を行い、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項24）				
・季節ごとの連携事業の実施	3	【さだセンター・さだ図書館】 ・8月「夏の映画上映会」定員80人 参加者64人 ・1月「絵本の中のお菓子づくり～バレンタインは何を作る～」定員16人 参加者16人 【牧野センター・牧野図書館】 ・6月「みんなでつくる大きな本の木」 参加者58人 ・10月「マッキーのナゾときツアー」 定員100人 参加者380人	3	センター及び図書館における季節ごとの連携事業の実施が確認できたもので、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・実施講座やサークル活動に関連する本の展示や紹介	3	・センター自主事業時には部屋出入口前に関連本を展示。講座中に展示本の紹介を行っています。 ＜展示した事業例＞ 「苔玉づくり」「もっと知りたい枚方市の取り組み(防災編)」「もっと知りたい枚方市の取り組み(防犯編)」「夏の映画上映会」「プチパーソナルカラー講座」、「真夏の枚方怪奇譚」、「守って楽しむSNSと動画配信のルール」、「家電リサイクル博士になろう」、「はじめてでも困らない！韓国旅行講座」	3	講座開催時の本の展示・紹介が確認でき、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・センター利用者へ向けた図書館利用促進イベント、講座、講演会の開催	3	【さだ】 ・11月「絵本作家がやってくる！読み聞かせ＆サイン会」 センター2階アートスペースで絵本の原画展、和室で読み聞かせ＆サイン会を実施、双方の利用促進につなげました。 【牧野】 ・1月「歴史講座～大坂の陣にみる「城」での攻防～」では、図書館の利用促進のため「歴史本スタンプラリー」を実施 定員20人 参加者79人	3	センター利用者へ向けた図書館利用促進イベント、講座、講演会の開催を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・センターの諸室を利用したブックイベントや図書館に関連したテーマの講座や講演会の開催	3	【さだ】 ・12月「コーヒーと物語のひととき」定員16人 参加者14人 センター・図書館双方で「コーヒーといっしょに読みたい本」を募集し、集まった書籍をセンター2階アートスペースで展示しました。 【牧野】 ・7月「真夏の枚方怪奇譚」定員30人 参加者61人 イベント実施 1 カ月前から図書館前ロビーに怪談募集ポストを設置して、体験した怖い話を集めました。地元で活躍中の作家三輪チサ氏をお迎えし、怪談語りに加え、ポストに集まったお話をしていただきました。また、三輪チサ氏著の関連書籍を展示しました。	3	センターの諸室を利用したブックイベントや図書館に関連したテーマの講座や講演会の開催しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
牧野北分館の調理室・和室の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている（確認事項25）				
・利用方法の提案・広報の拡大	3	・YouTubeにて、和室で姿見鏡を使用してヨガをしたり、調理室ではホットプレートを使用して粉もんパーティなどといった使用例や、貸し出し可能な備品なども含めた部屋紹介を行っています。	3	YouTubeにて部屋紹介を行い、利用方法の提案・広報の拡大を行っており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・調理室での定期的な料理教室や施設の特性に合わせたイベントなど、定期イベント・講座の実施	3	・定期的な料理イベントを開催したところ初めて来館された方も多くみられ、施設の周知に繋がりました。 5月「発酵で免疫力アップ！みそ玉づくり」定員20人 参加者24人 6月「赤しそシロップづくり」定員16人 参加者16人 ・9月から3月までは、改修工事の関係から事業の実施を見送りました。	3	多くの方に参加いただいた料理講座は、施設周知へとつながったことで本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・無料開放の定期実施	3	・牧野北分館改修工事もあり、令和7年度から施設稼働率の推移を見ながら実施致します。	3	今年度に関しては更新工事が入っており実施が困難であったため、来年度は事業計画書で提案いただいた計画の趣旨にそって実施いただきたい。
・利用者からの要望を反映	3	・講座時や利用者アンケートでご要望の多かった事業を行っています。 4月「水引で作る猫ブローチ」定員16人 参加者18人 5月「キラキラハーバリウムペンづくり！」定員24人 参加者28人 7月「夏のヘアゴムプレスレットづくり！」定員24人 参加者60人	3	魅力的な講座を実施し、利用者からの要望を反映させており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
生涯学習市民センターの夜間の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている（確認事項26）				
・夜間の空き室を利用した講座などの自主事業を実施	4	【さだ】 ・6月から11月の6か月間、第3金曜日の夜の「さだの夜活」では毎回異なった事業を実施しています。 6月「苔玉作り」 定員10人 参加者18人 7月「ナイト椅子ヨガ」 定員20人 参加者11人 8月「納涼怪談」 定員80人 参加者86人 9月「セルフお灸講座」 定員20人 参加者26人 10月「ナイトクラシックコンサート」定員50人 参加者37人 11月「美文字講座」定員20人 参加者19人 【牧野】 4月「プチパーソナルカラー講座」定員20人 参加者27人 「りょうものまねヒットパレード」定員120人 参加者120人 5月「元タカラジェンヌと歌おう」定員30人 参加者30人 6月「発酵で免疫力アップ！みそ玉料理教室」定員20人 参加者24人 7月「真夏の枚方怪奇譚」定員30人 参加者61人 9月「モールドールをつくろう！」定員40人 参加者49人 「はじめてでも困らない！韓国旅行講座」定員20人 参加者25人 7～9月「牧野運動塾～ストレッチ＆コアトレ～」定員7人 参加者4人 10月「大人のレジンdeレッスン ペンダントづくり」定員10人 参加者17人 11月「音ヨガ～心安らぐ癒やしのカリンバ～」定員30人 参加者30人	4	両施設とも夜間の講座を新たに数多く実施し、参加者も多く数多くの魅力的なコンテンツの提供に努められたことを評価する。今後は講座に参加した方が継続して施設を利用していただくことに繋げていただきたい。

	・知名度の高い講師の講座・イベントの実施	3	【さだ】 ・2月に京都先端科学大学 山本淳子教授による「源氏物語」関連の講座の実施しました。定員60人 参加者83人 大河ドラマの脚本の監修もされている講師の講座で、多くの方が参加されました。 【牧野】 ・4月「りょう ものまねヒットパレード」定員120人 参加者120人 ものまねタレント『りょう』による昭和歌謡のものまねショーを実施しました。 ・5月「元タカラジェンヌと歌おう」定員30人 参加者30人 元宝塚歌劇団の『美苑えりか』によるヴォイスレッスンを実施しました。	3	知名度の高い講師の講座・イベントの実施をしており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・ビジネス層や学生を対象とした、資格取得などを目的とした講座・イベントの実施	3	【さだ】 ・11月さだの夜活「美文字講座」定員20人 参加者19人 仕事帰りの方を対象に、美しい文字が書けるコツを指導していただきました。 【牧野】 ・4月「プチパーソナルカラー講座」定員20人 参加者27人 仕事帰りのビジネス層を対象とした、色相関係や色による印象の違いを学ぶ講座を実施しました。 ・7～9月「まきの運動塾～ストレッチ＆コアトレ～」を3ヶ月連続講座として実施しました。 定員7人 参加者4人	3	ビジネス層や学生を対象とした資格取得などを目的とした講座・イベントを実施しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
(オ) 事業提案（図書館）					
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業が提案されている（確認事項27）					
	・乳幼児向けサービスとして「赤ちゃんおはなし会」「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」の実施	3	【さだ】 ・乳幼児向けサービス「赤ちゃんおはなし会」毎月第1・3水曜日実施 年間実績 計21回 59組119人 ・10月「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」定員10人 参加者10人 子どもたちが日頃大切にしているぬいぐるみと一緒に参加してくれました。一緒におはなしかいに参加し、ぬいぐるみたちはそのまま図書館にお泊りました。そして、翌々日に子どもたちがぬいぐるみのお迎えに来てくれました。 ・集会室を常時開放し、「大型絵本」や「こどものとも012」を展示しています。靴を脱いで小さなお子さんとお母さんがゆっくり絵本が読めたり、大型絵本をスペースを気にせず広げて読んだり、リラックスして読書ができる環境をつくっています。また、毎月変わる集会室内の季節の装飾も楽しみにしている利用者もいました。 【牧野】 ・乳幼児向けおはなし会「親子でたのしむおはなし会」毎月第3水曜日実施 年間実績 計11回 39組79人 手遊び、体遊び、歌を交えながら行い、親子で楽しいひと時を過ごしてもらっています。参加者たちは、おはなし会の中で読んだ絵本や、紹介する「ブックスタート」「育児」の本に興味を持たれ、借りて帰られることが多いです。毎月のおはなし会を楽しみにされている方もいらっしゃいます。 ・ひらかた絵本まつり期間「あつまれ！みんなのこいのぼり」150枚折り紙で作ったさかなに子どもたちが思い思いに顔を描き3体の大きなこいのぼりが出来上がり館内の彩りとなりました。 ・秋の図書館まつり期間「やさいのがっこうぬりえコンテスト」定員100人 参加者 24人	4	両施設ともに乳幼児向けのおはなし会が実施されたことを確認した。子どもだけではなく、保護者にも関心を持って参加いただいており、読書習慣の環境を熟成する機会として効果的に取り組まれたことは乳幼児向けの直接的なサービス以上の効果があったもので、高く評価できる。特にぬいぐるみお泊り会は、子どもたちが図書館をより身近な存在に感じるであろう面白い取り組みと評価できる。 また、集会室を常時開放し、乳幼児の親子がリラックスして読書ができる環境づくりの取り組みも高く評価できる。
	・学齢期向けサービスとして「ひらかた絵本まつり、秋の図書館まつりでのイベント」「クイズ形式イベント」「図書館活用術」「工作イベント」「季節ごとのおはなし会と工作教室」の実施	3	・読書習慣を身につけてもらうよう読書シートを継続して配布しています。 年間配布枚数（さだ951枚、牧野256枚）20冊達成者数（さだ456名、牧野144名） 【さだ】 ・5月若葉まつり「えほんのひろば」参加者90人 ・工作教室を合わせたおはなし会 4月ひらかた絵本まつり「おはなし会スペシャル」参加者31人 7月「夏のおたのしみかい」参加者27人 12月「おはなしかいクリスマススペシャル」参加者40人 3月「春のおたのしみかい」参加者16人 工作教室は毎回人気がありたくさんの子どもたちが参加してくれました。 ・8月「こわいはなしのおはなし会」参加者37人 センター和室が会場で暗転にすると雰囲気も出て聞き入る参加者が沢山いました。 【牧野】 ・6月・8月・11月・3月「プチアニメーションおりがみおはなし会」参加者延べ38人 ・夏休み期間の児童向け行事 7月工作会「ポップアップカードを作ろう」 定員12人 参加者13人 8月「こども司書 図書館のおしごと体験」定員8人 参加者8人 8月「おばけのおはなし大会」3回 参加者延べ33人 ・10月センター・図書館共催「マッキーのナゾときツアー！～ハロウィンパーティーにしようたい～」定員100人 参加者 380人 ・10月～11月秋の図書館まつり「としょかんビンゴ～まきのde PON～」定員100人 参加者54人	3	両施設ともに様々なアプローチで学齢期の子どもに向けた事業を実施したことを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。次年度以降も精力的に事業を展開され、効果測定も行いつつ、新規登録者の増加にもつながるような工夫を凝らした企画となることに期待する。

	・YA世代向けサービスとして「進路進学資料の充実」「自身を表現する場を提供するイベント」「電子書籍の紹介」の実施	3	・YA向け機関紙を4月・7月・10月・1月に発行しました。機関紙はラーニングルーム内、カウンター、YA棚、2フロアに掲示、設置しています。 ・YAコーナー、ラーニングルーム内に「おすすめ本」記入用紙を常時設置し投稿を募っています。 ・市内高校・大学16校にラーニングルーム、データベース、スマート登録等を紹介した図書館利用案内チラシを作成し、各30部郵送しました。 【さだ】 ・YA機関紙ではYA世代おすすめ本や電子図書館、スマート貸出サービスの紹介など情報発信しています。 ・中高生にYA世代向けサービスの周知を図るために、7月にラーニングルームの利用頻度を高める施策を実施。座席の配置を学習や読書が集中できる空間にレイアウト変更し、壁面の照度の弱い座席にはデスクライトを8台設置しました。7月以降のラーニングルームはYA世代中心に非常によく利用していただき、電子図書館やスマート貸出サービス等の周知も図りました。 【牧野】 ・進路の参考になる資料（「なるにはBOOKS」など）の充実を図っています。YA棚の「進路・進学コーナー」の資料利用促進のため、ラーニングルーム内にPOPを掲示しています。 ・YA機関紙ではひらかた電子図書館よりおすすめ電子書籍や読売中高生新聞記事、ジャパナレッジ収録の情報などを紹介しています。 ・中高生を対象として3月よりスタンプラリー「図書館マスターへの道」を実施しています。（3月中は19枚配布）図書館サービスを理解し活用してもらえるようミッションには「ラーニングルーム利用」「本の予約」「電子図書館利用」などの図書館サービスを設定しています。	3	YA世代に向けた図書館利用促進を図るものとして、対象となる年齢層の利用が多いラーニングルームの活用は効果が見込めるもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されていると判断できる。ラーニングルームの利用にとどまらず、図書館利用にもつながる事業展開に期待する。
一般成人を対象とした図書館読書推進事業が提案されている（確認事項28）					
	・大人向けのおはなし会・朗読会の開催	3	・読書意欲の喚起として秋の図書館まつりにあわせてオリジナル葉を作成し、カウンター等に設置しました。（配布は各館3,000枚）心とむデザインと図書館標語は利用者に大変好評で読書の際に活用してもらっています。 【さだ】 ・8月に「こわいおはなしのおはなしかい」を実施しました。プログラムの中に大人向けのこわいおはなしも組み込んだところ、約半数が大人の方の参加でした。令和7年6月には参加者を大人限定にした「大人向けおはなし会」を計画しています。ストーリーテリングをおはなし会プログラムに入れ込み、「大人による大人のためのおはなし会」を行います。 【牧野】 ・11月「朗読発表会＆朗読会」定員25人 参加者18人 5月～9月に実施した「朗読を楽しむ講座」受講者による朗読発表、及び講師による朗読。「眼前に映像が浮かんできた」「まろやかな声で心にしみた」等の感想があり『耳で聞き』『想像し』『物語の世界に入り込む』という朗読ならではの楽しみを満喫していただくことができました。	3	大人向けのおはなし会はさだで、朗読会は牧野での開催が確認できたもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されていると判断できる。次年度以降はさだでは朗読会を、牧野では大人向けのおはなし会の開催にも努められたい。

	・バリアフリー映画上映会の開催	3	【牧野】 ・11月バリアフリー映画上映会『じんじん』定員 50人 参加者49人 - 日本語字幕、音声ガイド、手話通訳がが役に立ったという声をいただきました。 - バリアフリー映画が初めての方からも「誰にでもやさしい対応になって良い」との感想を得られ、バリアフリーへの理解も深めていただくことができました。	3	牧野図書館での実施が確認できた。 バリアフリー映画会は当初の事業計画書で提案されているものであり、毎年度開催してもよいので、次年度以降の早い段階でも実施されることに期待する。
	・「地域歴史講座」「防災講座」「金融講座」「認知症予防講座」など、一人ひとりの学びを支え、市民が生き生きと充実した毎日を送れるような講座の実施	3	【さだ】 ・6月「金融講座～お金の寺子屋・資産運用の基礎知識」定員40人 参加者33人 ・7月毎週金曜日「初心者向けくずし字講座（全4回）」定員12人 参加者延べ42人 - 次回も参加して学びたいという参加者もいて、利用者にとって満足度の高い講座でした。 ・2月健康講座「睡眠の質を高めるイキイキ生活」定員20人 参加者16人 【牧野】 ・5月毎週金曜日「初心者向けくずし字講座（全4回）」定員 12人 参加者延べ43人 - 継続して学びたいという学習意欲を惹き起こす講座となりました。 ・5月・6月・7月・8月・9月「朗読を楽しみ講座（全5回）」定員 10人 参加者延べ46人 - 講師の指導の下、参加者は熱心に取り組み、最終講座の発表では上達ぶりがかがえました。 ・9月「防災講座～気象情報を活用して災害に備える～」定員24人 参加者18人 ・10月・3月「ゆる～い読書会」定員各8名 参加者5名・2名 - 持ち寄り型読書会で、紹介しあった本を早速借りる等、人と本を結ぶ場、人と人の交流の場を提供することができました。 ・3月「第12回地域歴史講座～牧野の歴史（概略）～」定員 24人 参加者21人 - 牧野地域のことを知りたいとの理由で参加された方が多く講師の話に熱心に耳を傾けていました。 ・3月「育児 de おはなしタイム」定員 5組 参加者6組18名の親子 0歳児の子を持つ親を対象に保育士から子育てのアドバイスをいただき、参加者同士で話し合うなどの交流も生まれました。	3	年度事業計画書に沿った講座の実施が確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。特に好評を得た企画については次年度以降の継続開催の検討も含め、また、新たな企画での事業実施も期待する。
	・原画・パネル展の開催	3	【さだ】 ・8月「絵本作家えがしらみちこさんあなたのすてきなところはねパネル展」 ・10月「絵本作家たかやりえさん原画展」 【牧野】 ・6月まきの文化祭「おしいれのぼうけん複製原画展」 - 親子連れ、年配の方々、世代に拘わらず楽しんで鑑賞されていました。初めてこの作品に触れた方からも面白かったとの感想が寄せられ、人と本を繋げる機会の創出となりました。	3	当初の事業計画書に記載のある原画・パネル展が実施されたことが確認できたもので、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。原画に触れる機会の提供を行ったことは評価できる。次年度以降、両施設とも年に1回以上は実施されたい。また、原画・パネル展を機に初めて施設に来館される方には登録の案内を行うなど、継続的な図書館利用に結びつく取組みにも期待する。
	・枚方市の友好都市など、縁のある都市との交換展示の実施	3	・友好都市との交換展示につきましては、令和6年度から枚方市観光交流課と相談しながら、企画内容を進めてきました。令和7年11月の「枚方市友好都市物産展」と連動して、同時期にさだ牧野合同で枚方市の友好都市である高知県四万十市にある四万十市立図書館と交換展示を実施します。枚方市と四万十市の文化や自然、観光、産業等をテーマにそれぞれの魅力を相互に紹介する展示を行い、図書館利用者層の拡大、関連書籍の貸出冊数増大、両市の交流推進を図ります。	3	本市要求事項水準に沿い、次年度の実施に向けた準備が進められていることを確認したもので、多くの方々に来館していただける事業となるよう期待する。
ウイズコロナの観点から電子図書館の利用を増やすための取組みが提案されている（確認事項29）					
	・SNSやイベントでの広報、「電子書籍体験会」の実施や様々な使い方の提案	3	【さだ】 ・11月に実施した「本と雑誌のリサイクル市」で多くの参加者が見込めるため、電子図書館利用案内のチラシを受付で配布しました。 ・毎月月替わりで内容を変えて、電子図書館のおすすめ本を紹介する二次元コードを作成し、ラーニングルームや閲覧室に掲示しました。 【牧野】 ・毎週月曜日にXを用いて電子図書館よりおすすめ電子書籍を紹介しています。紹介された電子書籍は内容をすぐに見ることができるように二次元コードを作成し、ラーニングルーム、1フロア案内板に掲示しています。イベント時に電子図書館の宣伝や関連の電子書籍リストの配布を行っています。 ・2月1フロア「ひらかた電子図書館体験会」参加者20人 1対1対応で説明を行い、個別に分かり難い箇所について丁寧に説明することができました。うごく絵本や文字の拡大機能の説明を行うと喜ばれ、早速利用してみます、と仰っていました。	2	電子図書館体験会は申請時の事業計画書及び年度事業計画書に記載されており、牧野図書館では好評の企画となったが、さだ図書館では実施されなかったもので、本市要求事項水準を満たしているとの判断には至らなかった。さだ図書館については、中間期以降の取組みとして、牧野図書館の実施内容を参考にするなどして年度内に実施するべきであった。
	・ラーニングルームデスクへのQRコードの貼付	3	【さだ】 ・ラーニングルーム全席（16席）に電子図書館利用案内の二次元コードを掲示しています。「sada Wi-Fi」の案内やスマート貸出サービスの案内も一緒に掲示し、その場での利用促進も図りました。 【牧野】 ・電子図書館周知の手段としてラーニングルーム机上にひらかた電子図書館への二次元コードを貼付しています。また、ラーニングルーム内に掲示しているYA機関紙のおすすめ電子書籍には簡単にアクセスできるように二次元コードを載せています。	3	ラーニングルームでのPRが確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。電子図書館の利用が少ないヤングアダルト世代へのPRに引き続き努められたい。
	・貸出用タブレットの設置	3	・カウンターでいつでも電子図書館を体験してもらえるように12月にタブレットをさだ1台、牧野1台 計2台設置しました。	3	年度事業計画書に記載のタブレット設置を確認したもので、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。次年度に予定している館内で利用者が活用できる取組みに期待するとともに、利用実績の把握にも努められたい。

(カ) 利用者対応提案				
利用者に対する接遇対応向上について提案されている（確認事項30）				
・接遇対応向上研修の実施	3	・11月に接遇マナー研修として「ホスピタリティ研修」を実施	3	ホスピタリティ研修及び事例から対応を考える接遇研修の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・職員の自己実現・モチベーションアップの支援	3	・利用者サービス向上に向け、職員が当施設で働くことに誇りをもてるよう動機付けを行っています。 ・11月「全国施設代表者会議」を実施。施設での取り組み事例の発表や、グループワークでの意見交換を通してスキルの熟成を図りました。 ・「全国企画担当者会議」を毎年実施。企画のレベルアップと、ノウハウの蓄積を図っています。今年度は牧野職員の企画が表彰され、さらなる高みを目指す原動力となりました。	3	各種会議の内容は取り組み事例の共有化をはじめ、企画力の向上など、日々の施設運営に役立つ内容であり、また、優秀な企画は表彰するなど、職員のモチベーションアップにつながる取組みが評価できる。
・充実した研修制度による人材育成	3	・「入社時研修」「個人情報保護研修」「人権研修」「防犯研修」等基本的な研修をはじめ、応急手当の専門的な訓練「MFA研修」、安全管理担当者向けに災害の知識に関する研修も行っています。	3	多種多様な研修の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項31）				
・定期的に実施している職員による館内巡回で危機・トラブルの早期発見と未然防止に努める	3	・毎日の施設巡回(4回/日)の際には「安全点検チェックリスト」を元に各項目のチェックを行い、異常やトラブルを発見した場合は速やかに対処するよう心がけています。	3	定期的に施設巡回を行い、安全確保に努めており、本市要求事項を満たしていると判断できる。
・苦情・要望・対応ガイドラインの冊子を設置	3	・職員全員に苦情・要望対応ガイドラインを配布しており定期的(年2回)に読み合せを実施しています。	3	職員全員に苦情・要望対応ガイドラインを配布するとともに、定期的に読み合わせをしており、本市要求事項を満たしていると判断できる。
・全職員が記入できる「ヒヤリハット記録簿」を作成し、情報共有	3	・ヒヤリハット簿を作成し、全職員が速やかに情報共有を行っています。	3	ヒヤリハット記録簿を作成し、情報共有していることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・ご利用の注意・マナーのアナウンス	3	・掲示物にて利用者への案内・啓発を行っています。	3	利用者に向けたアナウンスを確認できた。掲示物については常時更新し、常に最新の状態を保つよう努められたい。
・早期対応と解決に努め、「事故報告書」を作成するなど報告・連絡を徹底し、全職員へ共有。	3	・問題発生時には早急に所轄課に報告・連絡・相談を行い、必要に応じて「事故報告書」を作成し提出しています。	3	「事故報告書」として記録を残し、施設内で共有化を図るとともに、市に提出されていることを確認した。適宜、再発防止策を定めて確実に実施されることに努められたい。
利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている（確認事項32）				
・危機管理マニュアルの読み合わせ・通読の徹底	3	・職員全員に危機管理マニュアルを配布しており定期的(年2回)に読み合せを実施しています。	3	職員全員に危機管理マニュアルを配布するとともに、定期的に読み合わせをしており、本市要求事項を満たしていると判断できる。
・休館日を利用した図書館合同での訓練の実施	3	・6月各施設で火災を想定した消防訓練を実施しました。 ・10月各施設で不審者対応訓練を実施しました。 ・1月各施設で地震と火災を想定した防災訓練を実施しました。	3	合同での各種訓練の実施が確認できたもので、本市要求事項を満たしていると判断できる。
・施設内外の危険箇所を把握し、共有	3	・毎日の施設巡回(4回/日)の際に危険個所のチェックを行い、何かあれば早急に共有し対応を行っています。	3	施設点検の定期的な実施及び修繕等適切な措置を図っていることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・安全備品の設置	3	・防災用品、防犯用品、救急用品、感染症対策用品、熱中症対策用品を設置。また、職員用の非常用持ち出し袋を設置し、非常時にも利用者対応にあたる準備を行っています。	3	安全備品の設置が確認できたもので、本市要求事項を満たしていると判断できる。常に即時対応できる状態を保たれたい。
・急病人発生時の対応	3	・体調の悪そうな方へは積極的にお声かけをし、状況によっては救急車要請や近隣の病院の案内を行っています。 ・2月AEDの使用方法を含む救命研修の実施しました。	3	積極的に声掛けを行うなど、早期対応を意識していることが確認できたもので、本市要求事項を満たしていると判断できる。全職員が適切な対応をとれるよう期待する。
利用者サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートの実施について提案されている（確認事項33）				
・セルフモニタリングチェックシートを作成し、情報共有	3	・セルフモニタリングチェックシートを使用し定期的に業務面のチェックをすることで、サービス向上に努めています。	3	セルフモニタリングチェックシートを活用した取組みは、本市要求事項を満たしていると判断できる。今後も継続した取組みに期待する。
・利用者アンケート・利用者懇談会の実施	3	・9月と2月に利用者アンケートを実施し、結果は施設内掲示およびホームページに掲載しました。 ・1月さだ・牧野両センターにて利用者懇談会を実施しました。	3	アンケートの実施に際しては一方通行にはなっておらず、寄せられた意見・要望について施設からのコメントを記載しており、双方向になっている点が評価できる。引き続き利用者の立場に立った施設運営に努められたい。
・利用者や利用者以外からの意見も聴取する仕組みの実施	3	・館内にご意見箱を設置しています。公開可のご意見には回答を掲示しています。 ・ホームページ問合せフォームを作成しています。	3	ご意見箱の設置やホームページ上での問い合わせフォームの作成など、本市要求事項水準を満たしているものと評価できる。非来館者の意見についてもホームページ以外での意見収集の仕組みづくりにも期待する。
業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修について提案されている（確認事項34）				
・従事者全員が人権についての理解を深める研修の実施	3	・3月人権研修を実施。	3	人権をテーマにした研修の実施が確認できたもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。次年度以降も様々なテーマで人権への理解を深める研修の実施に期待する。

【施設の管理に関する事項】				
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている（確認事項35）				
・法令を遵守し、必要な法令点検や検査を実施するとともに、法定点検以外の施設設備の点検や作業の計画的な実施	3	・各施設の「建物維持管理業務実施計画書」に則り、法令点検や検査及び必要な施設設備点検・定期清掃等を漏れなく実施しています。毎月の指定管理者運営会議で点検結果を報告するとともに、翌月以降の実施日の調整を行っています。	3	計画書に沿い、各種点検・検査等を実施していることが確認できたもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている（確認事項36）				
・施設の機能・財産価値を保持するため、定期的な点検を実施し、緊急時には「初動調査チェック表」を作成し有事に備える	3	・自然災害等の緊急事態が発生した際、安全回復に向けた対応を少しでも早く取れるよう、各施設毎の「初動調査チェック表」を作成し、有事に備えています。	3	定期的な点検の実施及び初動調査チェック表の作成を確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・具体的な維持管理方法として、チェックシートを用いた巡回点検や定期点検、緊急時点検の適切な実施	3	・さだ・牧野施設においては、毎月技術者による巡回点検を実施し、施設設備の状態確認を実施しています。 ・法令及び各施設に応じた施設設備の定期点検を実施するとともに、異常が確認された場合は随時緊急点検を手配しています。	3	チェックシートを用いた巡回点検や定期点検、緊急時点検の適切な実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・事故を出さない施設づくり	3	・日常的な点検は施設スタッフや清掃員が実施し、設備等の不具合の早期発見や避難障害の確認等に努めています。危険箇所を発見した場合は、施設スタッフで立ち入り禁止等の応急措置を講じ、来館者の安全確保を行ったうえで修繕手配を行います。 ・牧野センター1階ロビーの壁タイル剥落の恐れがあったため、周囲をロープパーティションで囲って立入禁止措置をし、修繕手配を行いました。	3	日常的な点検等により、適切な修繕対応を行うなど、事故を出さない施設づくりは本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。
・効率的・効果的な美観維持	3	・清掃員と施設スタッフが協力して日常の常態管理を行い、施設を清潔かつ衛生的に維持するよう努めています。日常清掃では賄いきれない汚れや手の届かない箇所については、定期清掃を実施し美観維持に努めています。	3	清掃作業員と施設スタッフの協力のもと、日常的な対応、また、定期清掃による美観維持を確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・「不具合・修理案件一覧表」に基づいた効率的・効果的な修繕	3	・さだ・牧野別に「不具合・修理案件 予定一覧表」を作成し、日常点検や定期点検で発見された不具合事項を随時追加しています。毎月の指定管理者運営会議で「不具合・修理案件 完了済み一覧表」で執行状況を確認し、優先順位を検討したうえで、効率的・効果的な修繕を実施しています。 令和6年度はさだセンター17件2,084千円、牧野センター28件4,396千円、計6,480千円の修繕を実施しました。	3	施設ごとに「不具合・修理案件 予定一覧表」の作成がなされ、適宜更新されていることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
基本仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている（確認事項37）				
・有資格者や経験者を積極的に採用し、適切な人員配置で運営	3	・適切な人員配置で運営しています。 ・司書率【さだ71%】【牧野79%】 ・施設維持管理に必要な資格者を選任・届出し、適切に管理運営しています。 【さだ・牧野】 「防火管理者」「建築物環境衛生管理技術者」「電気主任技術者」 【北分館】 「防火管理者」	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
生涯学習市民センターのロビーにおいて、基本仕様書の規定に従い、適正なWi-Fi環境の整備について明確に示されている（確認事項38）				
・利用者が無料で使用できるWi-Fi環境を整備し、セキュリティ対策を行っている	3	・ロビーに無料で接続できるWi-Fi環境を整備しています。(セキュリティ方式としてWPA2を採用)	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされている（確認事項39）				
・関係法令に従った廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の実施	3	・枚方市の許可を受けた収集運搬業者に一般廃棄物の処理を委託し、さだ・牧野は週2回、北分館は週1回実施しています。 ・産業廃棄物の処理は、許可業者に委託し、マニフェストを取得することとしています。（現状、処理実績無し） ・古紙、缶・ビン・ペットボトル等の再生可能な廃棄物に分別保管し、収集運搬業者やベンダー・製造業者等に引き取りを依頼し、廃棄物の減量に努めています。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている（確認事項40）				
・備品管理簿にて施設備品を管理し、計画的に修繕・更新を実施	3	・備品管理簿を作成、管理しています。・利用者の安全性を第一に、利用頻度や需要等をから優先度を決め修繕・更新を実施しています。	3	備品管理簿にて適正に管理しており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に提案されている（確認事項41）				
・環境負荷低減施策の推進者を定め、スタッフ及び施設利用者への告知・啓蒙を実践	3	・環境負荷低減施策の推進者をセンター所長と定めています。・省エネや環境負荷啓蒙活動としてグリーンカーテンを栽培しています。 ・牧野北分館は枚方市グリーンカーテンコンテストに参加しました。 【さだ】 ・使用用紙をSFC認証品に変更しました。 【牧野】 ・使用用紙をSFC認証品に変更しました。 ・ロビーにて植物の栽培、配布を実施しています。 【北分館】 ・納豆菌を利用した土壌再生・土壌改良に取り組んでおり、SDG sの一貫として雑草を利用した地球に優しい土をつくっています。今年度は昨年完成した再生土を利用し、季節の花とカボチャ栽培を実施しています。	3	昨年度から引き続き環境に配慮した取り組みを実施したことを評価する。また、北分館においては、SDG s に配慮し、再生土を利用した花とカボチャ栽培を実施したなどの取り組みは評価できる。
・コスト削減につながる修繕を計画し、提案実行	3	・枚方市所有施設の照明設備LED化を3年計画で実施頂くことになりましたので、計画推進に積極的に協力するとともに、計画を踏まえた修繕工事を実施して行きます。また、さだ・牧野施設においては、空調設備等更新時期を迎える設備がありますので、環境負荷低減につながる製品情報の収集や積算協力を行います。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている（確認事項42）				
・感染症の基本的予防保全対策	3	・引き続き各階に手指消毒液を設置。利用者へ手洗いの注意喚起を掲示しています。 ・嘔吐物処理キットを設置しています。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。消毒液の状況等に留意し、継続した取り組みを期待する。

	・ウイルスとの共存を見据えた新たな感染拡大防止策	3	・枚方市感染症予防計画に則って施設運営を行っています。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
--	--------------------------	---	-----------------------------	---	--------------------------------------

【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】				
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項43）				
・情報の公開に関して公平性・透明性・迅速性をもって適切に対応	3	・枚方市の情報公開条例に則り迅速に適切に対応します。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・利用者アンケートの結果など自発的な情報開示	3	・アンケート結果、回答は施設に掲示し、ホームページに掲載もしています。	3	利用者アンケートの回答結果が施設内やホームページ上に掲載されており、アンケートが施設と利用者の双方向のものとなっていることを確認した。本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項44）				
・個人情報の取り扱いガイドラインを遵守	3	・個人情報の取り扱いガイドラインを遵守し運営を行っています。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・年一回の個人情報保護研修の受講	3	【センター共通】 ・12月個人情報保護研修を実施しました。 【図書館共通】 ・8月個人情報保護研修を実施しました。	3	個人情報保護をテーマにした研修の実施が確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・年一回の個人情報保護チェックシートの活用	3	・年1回個人情報保護チェックシートに基づき、施設内の個人情報保護体制のモニタリングを実施しています。 【さだ】12月実施 【牧野】1月実施	3	個人情報保護に関するモニタリングが実施されており、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。
【緊急時における対策に関する事項】				
施設（監視盤等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている（確認事項45）				
・危機管理マニュアルを随時更新し、適切に対応できるよう活用	3	・危機管理マニュアル7月更新。職員全員に配布しています。	3	マニュアルが最新の状態であり、共有されていることを確認した。
・安全に関する内部監査の実施	3	・10月安全管理推進室による内部監査を実施しました。	3	内部監査の実施が確認できたもので、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・安全管理担当者を配置し、「全国安全管理担当者会議」で情報共有	3	・安全管理担当者を配置しています。 ・7月、9月、2月に安全管理担当者会議を実施しました。 ・11月全国施設代表者会議で取組事例の共有しています。	3	安全管理者を配置し、関係会議への参加等を確認したもので、安全管理についての取組みが実施されたことを確認した。
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項46）				
・災害発生時の適切な対応について、対応フロー図を作成し、施設スタッフへの周知徹底、実践的な訓練の実施	3	・危機管理マニュアルを全員に配布し読み合わせを行っています。 ・火災、地震、風水害、怪我・急病についてそれぞれ対応フロー図を作成し、職員間で共有、周知を徹底しています。 ・災害発生時に適切な対応が実現できるよう、年2回実践的な訓練を行っています。	3	危機管理マニュアルの読み合わせや実践的な訓練の実施などを確認したもので、災害対応に向けた取組みが適切に行われたことを確認した。
・日々の危機管理体制の確認	3	・危機管理体制を毎日更新掲示し朝礼時に共有しています。	3	危機管理体制の共有など、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・非常時、緊急時は市へ報告し、迅速な対応・解決につなげる体制整備	3	・非常時、緊急時には速やかに市へ報告し、迅速に対応・解決できる体制をとっています。	3	非常時の対応が適切に行われていることを確認した。危機事象発生時には、曜日や時間を問わず市に迅速に報告するよう努められたい。
・「緊急連絡網」を整備し、緊急時における連絡体制の構築	3	・緊急連絡網を作成し、所轄課に提出しています。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている（確認事項47）				
・「リスク分担表」に則った責任分担を理解している	3	・原則「別表1 リスク分担表」に従います。	3	本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
【その他】				
高齢者・障害者サービスを維持・向上させる具体的な取組みについて提案されている（確認事項48）				
・生涯学習市民センターとして、講座実施や高齢者をはじめとする様々な人の活躍の場の創出、平等な情報伝達方法の提案といった取組み	3	・豊富な知識、経験、優れた技術を講師として生かしていただけるよう、講師紹介カードの提出をご案内しています。 ・老眼鏡・車いすを継続して設置しています。 【さだ】 ・耳の不自由な方のために筆談ボードを設置しています。 ・高齢者の健康維持を目指すため「楽10体操」の講習会を定期的に実施しています。 【牧野】 ・可動式のスロープで段差に対応しました。 ・諸室案内板に案内用絵記号を表記しました。	3	諸室案内板に案内用絵記号を表記する等本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・図書館として、認知症にやさしい図書館や高齢者サービスの維持向上、障害者サービスの維持向上といったの取組み	3	・リーディングトラックー、老眼鏡、筆談ボードを継続して設置しています。 ・『認知症にやさしい図書館ガイドライン』をもとに認知症の理解、認知症の人との接し方を全スタッフで研修しています。認知症についていつでも相談できるよう地域包括支援センターと連絡できるよう全スタッフに周知しています。 【さだ】 ・高齢者サービス、障害者サービスとして車いすを常備しています。 ・高齢者の負担軽減を目的に、一般書書架の最下段への配架を減らす作業を進め、令和6年度末までに9割程度の書架最下段を空けました。 【牧野】 ・LLブックコーナーの資料を新しく購入しました。また、高齢者の負担を軽くするため最下段への配架を減らすよう書架の整理をすすめ、11月に要望の多かった文庫棚最下段を空ける作業を行いました。	3	高齢者や障害者に配慮した取組みが適正に行われていることを確認した。車いすについては、定期的にタイヤの空気圧を確認するなど、メンテナンスにも努められたい。

施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている（確認事項49）				
・従来層 + αに向けたデジタル媒体のさらなる活用	3	・YouTubeの配信機能を積極的に活用しています。 ・ホームページからの講座・イベント申し込みを実施しており、インターネット世代からのイベント申込みも徐々に増加しつつあります。また、初めて来館される方に向けて、最寄り駅からセンターまでの行き方などを紹介したYouTube動画をホームページのアクセス欄にはめ込んでそのまま動画を視聴できるようにアップデートいたしました。	3	定期的にHPのアップデートを行っていることを確認した。本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・様々な手法を駆使した積極的な連携講座の実施	3	【さだ】 ・12月に近隣の障害者就労施設と連携して「さだマルシェ in winter」を実施。 【牧野】 ・10月地域コミュニティで活動されている団体と連携して防災講座「南海トラフ巨大地震直後の最適行動」実施。 ・10月「まきの市 Halloween in まきの2024」において、地域の商業施設と連携しイベントを行いました。	3	予定していた事業実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。
・地域を巻き込んだ広報物の刷新・作成	3	・今後予定されている照明のLED化や牧野北分館の改修工事後に、パンフレットの刷新を検討予定 【さだ】 ・さだだよりを光善寺駅構内のチラシラックや掲示板、近隣の商店に配架しています。 ・さだだよりの表紙に掲載する作品を募集しています。 【牧野】 ・まきのだよりの表紙に「枚方きりえ倶楽部」の作品を掲載しています。	3	地域との関係を維持していることを確認したもので、本市要求事項を満たしていると判断できる。また、事業計画書記載の事業について次年度の実施に向けた準備が進められていることを確認した。

指定管理者による一次評価 平均点	3.0	所管部署による二次評価 平均点	3.0
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 (1)の評価基準		
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4 点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3 点以上 4 点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2 点以上 3 点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2 点未満

評価項目 1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に減少している場合、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	問題ない	○	収支は大幅に乖離しておらず、適正であることを確認した。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由が妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれがないか。	○	問題ない	○	想定外に多く支出している項目はなく、適正であることを確認した
・運用資金の借入れを行っていない。／借入れを行っている場合、その理由が妥当か。	○	問題ない	○	運用資金の借入れを行っていないことを確認した。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	適正である	○	現金管理が適切に行われていることを確認した。

評価項目 1 (2)の評価基準		
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1 個以上

評価項目1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）	A
---	---

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項3ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	行っている	○	要項記載事項を遵守し、適切に行っている。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	管理している	○	適切に口座を分けて管理をしていることを確認した。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	講じている	○	適切な措置を講じていることを確認した。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	遵守している	○	関係法令を遵守していることを確認した。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	行っている	○	日報等で記録しているが、職務の執行に対する意見、要望等の記録等に該当するものはなかった。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	管理・保存している	○	管理規定等を定め、適正に管理・保存していることを確認した。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	行っている	○	光熱水費の削減目標の設定、グリーン商品の購入を実行しており、環境への配慮が適切に行われていることを確認した。
・適切な保険に加入しているか。	○	加入している	○	施設賠償責任保険及び講座賠償責任保険に加入していることを確認した。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	明記している	○	指定管理者名は館内に表示し、利用料金表にも明記していることを確認した。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組まれ）ており、募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	障害者法定雇用率(令和6年6月1日現在)【小学館集英社プロダクション】令和6年4月より障がい者の法定雇用率が引き上げられ、代表企業の障がい者雇用率は、2.24%でしたが、その後1名採用し法定雇用率の2.5%には、あと2名の採用で届く状況でした。引き続き法定雇用率の達成に向けて採用活動をすすめながら会社全体で取り組んでいます。【図書館流通センター】2.97%【長谷工】平成3年に特定子会社を設立し、平成21年には「関係会社特例制度（グループ摘要）」の認定を受けています。グループ全体では248名の障害者を雇用していますが、現状の障害者雇用率は2.44%、不足数5名の状況です。ハローワーク・地域支援機関・就労移行支援・労働局・障害者体験マッチング会等と連携し、令和7年3月を目標に、雇用率達成を目指しています。	○	一部達成できていないが、達成に向けて取り組まれていることを確認した。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	取り組んでいる	○	利用者アンケートを実施し、回答の施設内への掲示を確認した。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	報告している	○	業務報告書、日報・月報等が遅滞なく提出され、適切に報告されていることを確認した。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	報告している	○	修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されている。

評価項目 1 (3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。 (監査報告書等)	○	事項はない	○	応募資格に抵触する事項はない。
・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。 (監査報告書等)	○	適正に行われている	○	会計手続きが適正に行われていることを確認した。
・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。 (貸借対照表)	○	されていない	○	異常事項が指摘されていないことを確認した。
・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。 (損益計算書等)	○	適正である	○	大きな前期比増減は生じていない。
・安定した収益をあげられているか。(赤字となっていないか。)	○	適正である	○	安定した財務状況となっている。
・施設の収支状況(自主事業の収支を含む)が安定しているか。(赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。)	○	適正である	○	安定していることを確認した。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	要素はない	○	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。

評価項目 2 の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
----------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント
指定管理期間2年目の今期も、安心・安全な施設運営と文化創造の支援をおこない、地域の活性化に貢献してまいりました。 第2回利用者アンケートでも、第1回同様高い評価をいただきました。満足度調査にて普通以上の回答については諸室・ロビー・図書館内フロアの満足度(さだセンター97.87%、さだ図書館98.32%)(牧野センター99.18%、牧野図書館98.82%、牧野北分館100%)と高い水準で回答をいただきました。窓口及び業務対応としての回答も(さだセンター98.47%、さだ図書館99.73%)(牧野センター99.58%、牧野図書館100%、牧野北分館100%)と高い水準で回答をいただきました。利用者の安全・安心を最優先に考え、設備の修繕や備品の入れ替えを優先順位を設けて対応しました。共有スペースのロビーでは、机・椅子のレイアウトを変更したり季節の装飾を施したりして、居心地の良さを感じていただきました。利用者参加型のイベントを増やすことで、来館者数の増加につながりました。 施設稼働率に関しては、年間で概ね2%の増加となりました。諸室が使いやすくなるような備品の設置をし、職員が具体的な諸室の利用方法を提案することで、利用率が向上した諸室もありました。 自主事業に関しては、今期は夜間の開催を大幅に増やし、仕事帰りのビジネスパーソンなどの新たな参加者層を獲得することができ、センターの周知につながりました。人気の講座の再開催や、まったく新しい講座の開催などバラエティーに富んだ事業内容は、幅広い年齢層の方に満足していただけた。新たな試みとして、牧野をメイン会場・さだをサブ会場とした同時配信の講座も開催しました。課題の多い結果となりましたが、質の良い講座を多くの方に届けるための手段としては有効であると感じました。 学校連携事業では図書館見学や学校訪問おはなし会、職場体験学習や調べ学習を通して児童・生徒の学びの支えとなるよう実施しています。さだでは近隣小学校授業での制作物を図書館内に展示するなど図書館来館のきっかけとなるよう連携を図りました。また、中学生職場体験で作成した「おすすめ本」POPを本と一緒にYAコーナーに展示し、同世代の来館者に興味を持ってもらいました。さだでは集会室を開放、親子でゆっくり絵本を読んだり、季節の装飾を楽しんだりできる環境を整えました。牧野では「ひらかた絵本まつり」や「秋の読書週間」で幼児から簡単に参加できるお絵描きやぬり絵等を行いました。親子で楽しい時間を過ごしてもらえるよう、継続して取り組んでまいります。 こどもから一般成人までそれぞれの世代にあわせた様々な行事や資料展示を実施してまいりました。これらの行事を通して、学びや課題解決の支援、趣味作りのきっかけにさせていただくことができたと実感しております。今後もアンケートや利用者のお声を聞きながら、喜んでもらえるような行事の企画を考えてまいります。 ラーニングルーム利用は対前年比さだ109.6%、牧野105.5%と伸びています。学生の試験勉強だけでなく、一般成人の読書や調べもの等、ご自身のライフスタイルにあわせてご利用いただいています。勉強等の合間の気分転換になるよう「ひらかた電子図書館」アクセスの二次元コードを各デスク上に貼付しています。 施設設備全般においては、令和6年度牧野北分館の空調設備・照明設備の更新と集会室等天井の改修工事を実施いただきました。施設を安心・安全・快適に利用いただける様、維持管理に努めてまいります。さだ・牧野両施設とも空調機器、給水設備、照明設備、自動ドア、舞台設備、消防設備などの経年劣化が進行しています。修繕費予算を年額6,400千円に増額いただき、懸案となっていた、さだセンター・牧野センターの消防設備の改修工事を実施することができ、施設の安全性確保につなげる修繕や、牧野センターのホール緞帳の更新やピアノ修理等の施設利用者の満足度アップにつながる修繕を実施することが出来ました。また、牧野施設のエントランス壁タイルの剥落やさだセンター・さだ図書館の空調設備不良、トイレや建具等の不具合による緊急修繕が発生し、応急措置を実施したうえで迅速に対応しました。修繕発生時には、指定管理者間および枚方市との連絡・報告が正確に実施できるよう「業務打合せ簿」を有効に活用していきます。令和7年度は枚方市において牧野センターの照明設備更新工事・空調設備更新工事・外壁等改修工事を実施いただきますので、利用者の安全確保を第一に、工事がスムーズに実施できるよう協力してまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価		
評価項目	評価結果	総合評価
1 業務の履行状況		A
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	A	
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	A	
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	A	
2 業務の継続性・安定性	A	

総合評価の考え方

評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として 4 項目（または 3 項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が 1 つ以上ある場合はその合計点数から 1 点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。

ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

点数・評価対応表															
評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として 4 項目（または 3 項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が 1 つ以上ある場合はその合計点数から 1 点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。															
ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。															
総合評価		S			A				B			C			
評価項目が4つの場合	点数	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
	評価項目の評価	SSSS	SSSA	SSSB	SSAB	SSBB	SABB	AABB	ABBB	BBBB	AACC	ABCC	ACCC	BCCC	CCCC
	(順不同)			SSAA	SAAA	SAAB	AAAB	SBBB	SSCC	SACC	ABBC	BBBC	BBCC		
						AAAA	SSAC	SSBC	SABC	AABC	SBCC	SCCC			
評価項目が3つの場合	点数	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2			
	評価項目の評価	SSS	SSA	SSB	SAB	SBB	ABB	BBB	SCC	ACC	BCC	CCC			
	(順不同)			SAA	AAA	AAB	SAC	SBC	ABC	BBC					
						SSC	SAAC	AAAC	SBBC	AAC					

(2) 二次評価コメント

〈生涯学習市民センター〉

今年度、両施設とも新しい利用者に向けた取り組みに力をいれている点を評価します。中でも、夜間の講座を数多く実施することで、新たな施設利用者の増加や、若い現役世代の利用率の向上へ寄与することが考えられるため、今後多くの方に施設を知っていただき、一層の施設の盛り上がりへと繋がっていくことを期待します。一方、今年度は牧野施設の北分館においては工事の影響で休館や諸室の利用が行えなかったりと利用者及び指定管理者にもご迷惑をおかけいたしました。今年度行うことがかなわなかった事業等については来年度以降に実施し、施設を活性化していただきたいと思います。

また、今回新しい試みとして牧野をメイン会場・さだをサブ会場としたサテライト講座についても課題が多くまだまだ改善の余地があるとのことですが、これからの情報化社会においてますますニーズが大きくなる項目であると思われますので今後ともデジタル技術を駆使した分野において注力いただき、利用者のニーズにこたえていただければと思います。

今後も将来の展望として掲げております「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち枚方」を目指し取り組んでいただきたいと思います。

〈図書館〉

両施設ともに年度事業計画書に記載の数値目標のうち、来館者数は目標に若干届きませんでしたが、貸出冊数については目標を超える実績となりました。様々な世代に向けた読書活動の推進、図書館のPRなど、数多くの取り組みに精力的に取り組まれ、利用者からも一定の評価を得ることができた結果と考えます。アンケート調査による「職員の窓口及び業務対応」についての満足度もさだ図書館が約75%、牧野図書館では約86%となっています。多種多様な事業展開のみならず、レファレンスのスキルアップや接遇力の向上にも努めながら、より高い満足度評価を得られることを期待します。今年度は残念ながら、令和6年度の事業計画書に記載した企画の一部が実施されなかったものがありました。指定管理期間の中間年にあたる次年度以降は、年度事業計画書に記載した事業は必ず実施するとともに、今年度未実施となった事業に加え、申請時の事業計画書に記載した内容についても前倒しでの実施を行うよう努めるとともに、施設の役割をより深く追求して魅力のある図書館づくりに取り組まれることに期待します。生涯学習市民センターとの併設ということで、複合施設ならではの事業展開にも期待します。

また、事業を実施された際には、その事業が効果的なものであったかの検証は必ず行うようにしてください。参加者へのヒアリングやミニアンケートでも結構です。次の事業企画につながるように、事業を実施したという実績の積み重ねだけではなく、個々の事業を効果的に行うことができたと一次評価できるように心掛けてください。

令和7年度途中からはICタグシステムを導入します。あわせて予約図書受取コーナーの運用も始まります。これまでスタッフが時間を割いていた業務の一部が簡素化されるもので、その時間をレファレンスサービスやフロアワーク、効果的な選書など、図書館サービスの充実につながる取り組みに活かせるよう期待します。

5 改善指示への対応状況

指示を行った時期	内 容	対応状況

6 添付資料

◆収支・利用状況